

氏名	日高 優
授与した学位	博士
専攻分野の名称	看護学
学位授与番号	博甲第5768号
学位授与の日付	平成30年3月23日
学位授与の要件	保健学研究科 保健学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文の題目	ほめられた経験が看護学生の学習動機づけに及ぼす影響
論文審査委員	教授 谷垣静子 教授 森本美智子 准教授 大井伸子

学位論文内容の要旨

[目的]ほめられた経験が看護学生の学習動機づけに及ぼす影響を検討する。

[方法]先行研究を参考にほめられた経験を測定する尺度を作成し、看護学生を対象に質問紙調査を行った。

[結果]因子分析の結果、「個人へのほめ」($\alpha=.93$)と「行動へのほめ」($\alpha=.89$)の2因子が抽出された。学習動機づけへの影響を検討した結果、行動に対してほめられた経験が多い群はより内発的な動機づけが高く、外的動機づけは低い傾向にあることが示された。

[考察]ほめられた経験は看護学生の学習動機づけに有用であり、より内発的な動機づけを高めるには学生の行動に焦点を当てて評価する必要があることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本論文は、ほめられ経験が看護学生の学習動機づけに及ぼす影響を実証的に検討した論考である。調査設計においては、ほめられ経験を量的に測定する尺度（以下、ほめられ経験尺度）を作成し、同時に他の尺度を用いることで妥当性の検討も考えられいた。

看護学生207名に自記式質問紙を用い調査を行っている。その結果、ほめられ経験尺度は「個人へのほめ」と「行動へのほめ」の2因子が抽出された。学習動機づけへの影響を検討した結果は、行動に対してほめられた経験が多い学生はより内発的動機づけが高くなったというものであった。

本研究の新規性は、看護学生を対象としたほめられ経験尺度の作成にあり、また看護学生における「ほめること」の影響を実証的に検証したことである。ただし、尺度作成にあたり聞き取り調査や予備調査をするなど手順が欠けていたことから、「ほめ」の概念的に反映しているか疑問が残る。

本論文は、看護学における実践・研究の発展に寄与する学術的価値を有しており岡山大学大学院保健学研究科博士後期課程の博士号（看護学）に値するという結論に達したので報告する。